

施工説明書



CET910型
CET940型
CET960型

CERA ORIGINAL COLLECTION 自動サーモスタット混合栓

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。





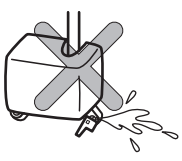
	○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。
	電源プラグや機能部に水をかけない 火災や感電の原因になります。
	指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。
	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
	電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない 火災や感電の原因になります。




警告	
	禁止 コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	接触禁止 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。
	水場使用禁止 浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。
	分解禁止 分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電の原因になります。
	必ず実行 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。
	必ず実行 電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因になります。

1-2

警告

 禁止	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使わない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
 必ず実行	フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う また、湯側フィルター部分が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

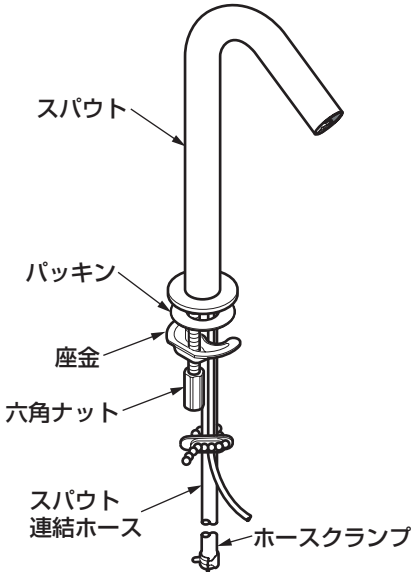
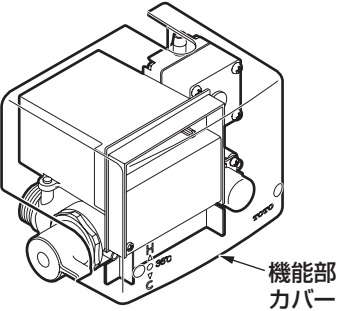
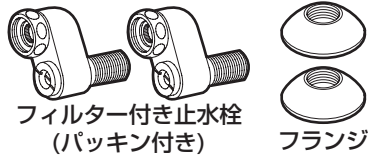

注意

 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	屋外や凍結が予想される場所に設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

スパウト部	
	
機能部	給水脚部
	
	その他 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>必ずお客様にお渡しください</p>  </div>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

裏面へつづく

3 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給水圧力範囲は、0.05～0.75MPaです。
この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPaに減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. 給湯温度の確認

- 誤動作などによるやけど防止のため、**60℃給湯**をおすすめします。
ただし、約50℃以上の湯は出ないようにしています。

3. 配管・配線について

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- **電源はAC100V(50/60HZ)、最高消費電力は5W**です。
必ずこれに適した配線をしてください。

4. その他

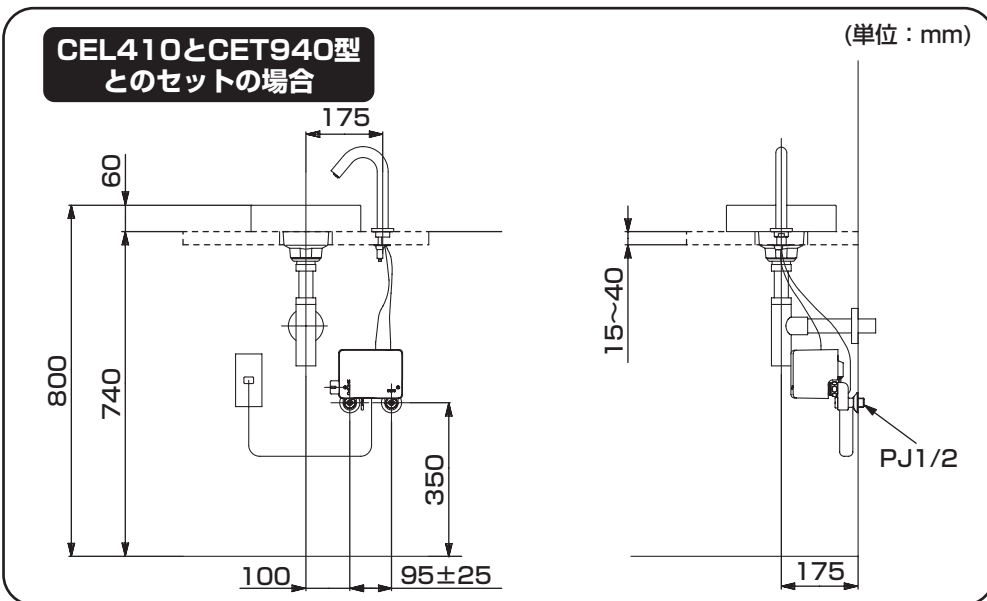
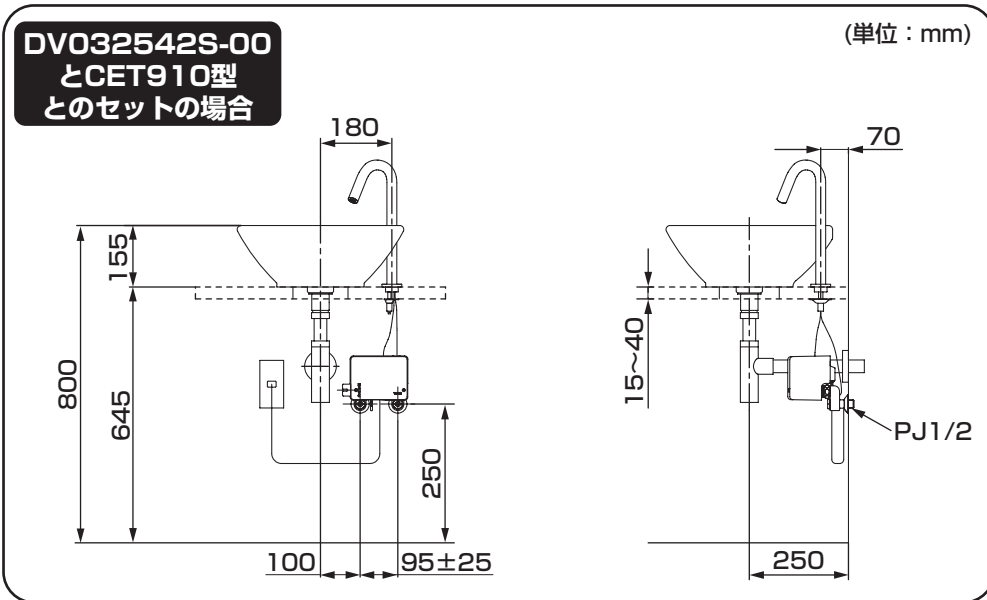
- センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤動作することがあります。
- 屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 仕様

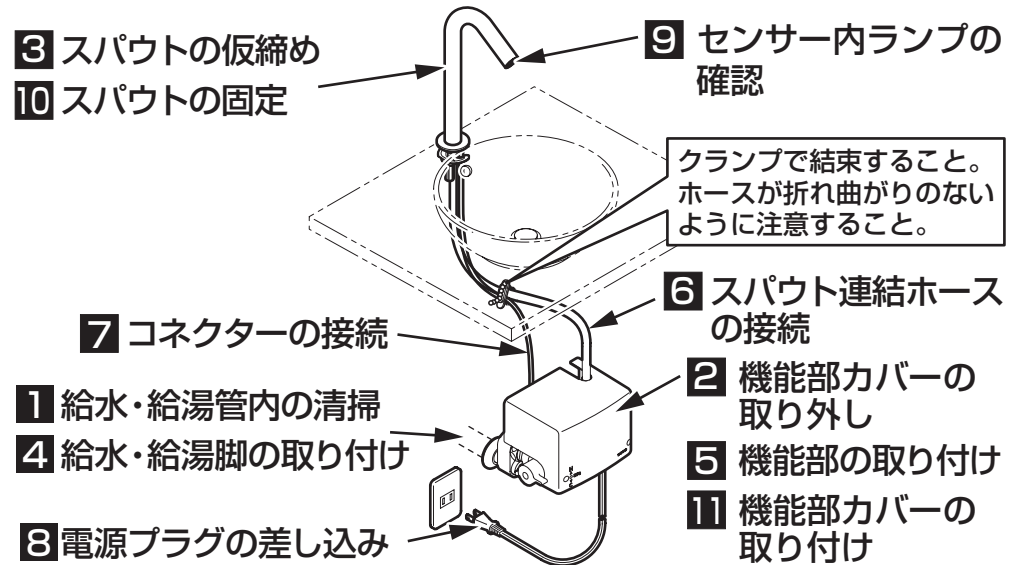
電源電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	待機時	0.4W (最大値3W)
	動作時	0.6W (最大値5W)
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1～40℃	
感知距離	学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)	
電源コード長さ	0.75m	
センサーコード長さ	0.85m	
吐水流量	定流量弁(4L/分)により上限カット 必要に応じ止水栓にて流量調節可能	
給水接続	PJ1/2	
用途	パブリックおよび一般住宅洗面所用	

5 完成図 (例)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順



注意

クリーンドライ(温風乾燥器)などのセットでは、クリーンドライのセンサー光が陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。

1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

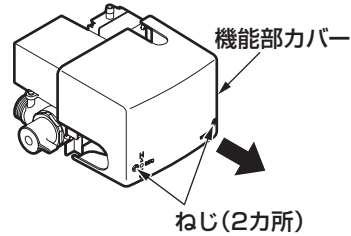
重要

次面へつづく

6-2

2 機能部カバーの取り外し

ねじ(2カ所)をゆるめ、機能部カバーを手前に引く。

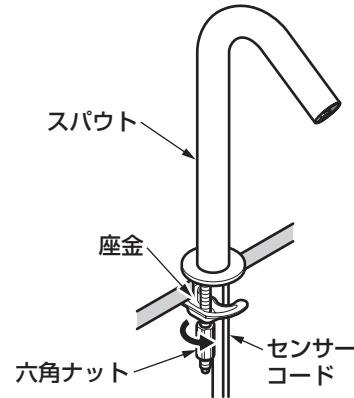


3 スパウトの仮締め

- ①スパウトを陶器取付穴に差し込む。
- ②吐水口を排水口方向に向け、座金を六角ナットで仮締めする。

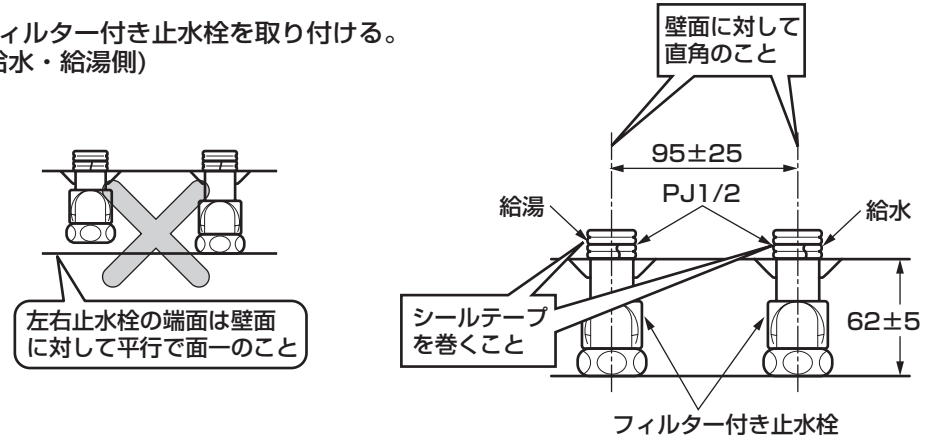
注意

スパウト連結ホースとセンサーコードのかみ込みに注意してください。



4 給水・給湯脚の取り付け

フィルター付き止水栓を取り付ける。(給水・給湯側)



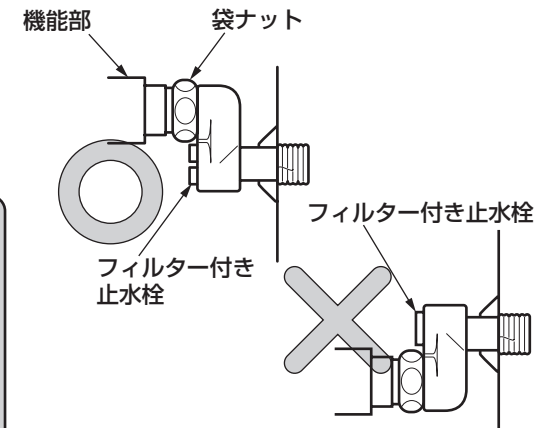
※陶器と機能部が干渉する場合、取付脚(別売：TN57-1型)をご利用ください。

5 機能部の取り付け

- ①フィルター付き止水栓の袋ナットにパッキンを取り付ける。
- ②機能部を取り付ける。

注意

- パッキンを必ず取り付けてください。
- フィルター付き止水栓は機能部の接続部が上になるように取り付けてください。
下になるとフィルターの掃除、および止水栓の調節ができません。

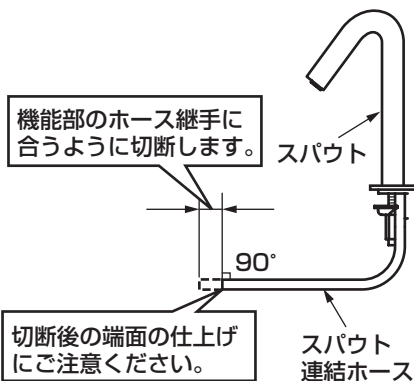


6 スパウト連結ホースの接続

①スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注意

- ハサミなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。

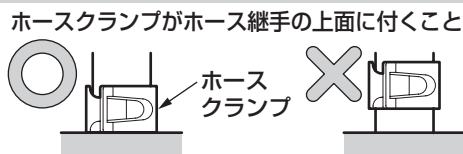
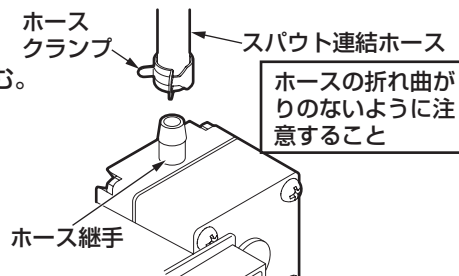


②スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。

③ホースクランプでホースを固定する。

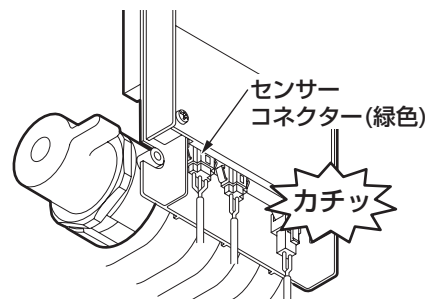
注意

- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
- ホースクランプは所定の位置にくるようにしてください。
- 必ずホースクランプでスパウト連結ホースを固定してください。



7 コネクタの接続

センサーコネクタ(緑)を「カチッ」というまで差し込む。

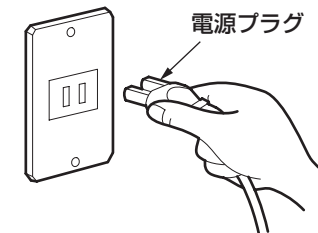


8 電源プラグの差し込み

電源プラグをコンセントに差し込む。

注意

電源が入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)



9 センサー内ランプの確認

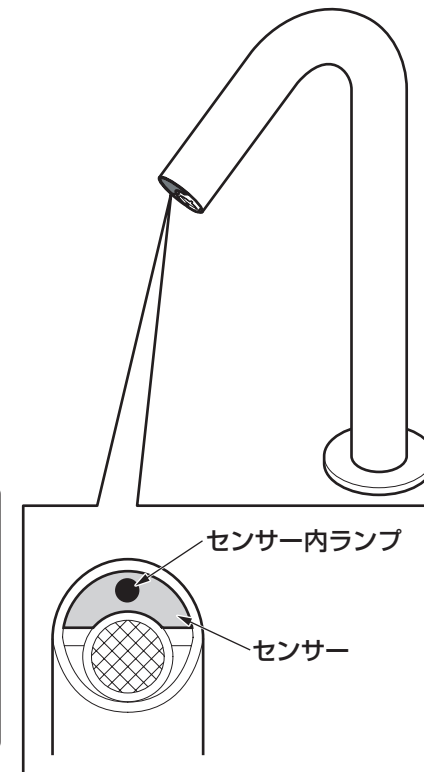
センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

※もしも点滅していれば、スパウトの向きを少し変え、点滅しないところに調整してください。

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。自動に点滅が消えるまでにスパウトの向きの調整作業が完了しなかった場合は、センサーコネクタを一度抜き、差し込み直してください。

注意

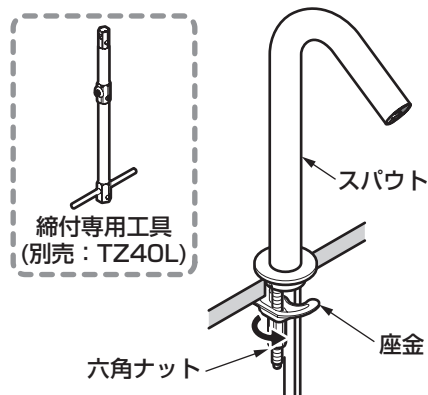
- センサー内ランプの確認をする際は、必ずセンサーを陶器のボウル面中心に向けてください。
- 陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがありますが、その場合はそのまま設定してください。(ランプの点滅は約10分後に消えます)



10 スパウトの固定

六角ナットを締め付け、スパウトを陶器に固定する。

- ※六角ナットの締め付け用として、専用工具（別売：TZ40L）を準備しておりますが、下記の一般工具でも取り付け可能です。
- ・ソケットレンチ（対辺13mm）
 - ・T型レンチ（対辺13mm）
 - ・ナットスピナーハンドル（対辺13mm）

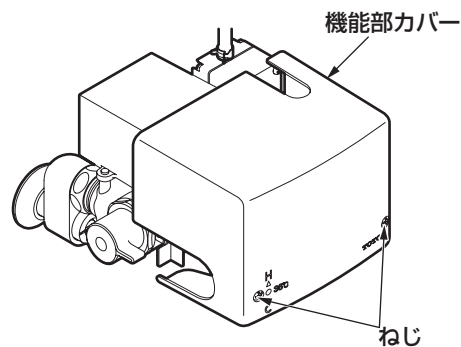


11 機能部カバーの取り付け

コネクタが確実に接続されているか確認したあと、機能部カバーを取り付ける。

注意

- 機能部カバーは確実に取り付けてください。
- 機能部の取り付け向きを確認してください。
- 機能部カバーを取り付ける際は、コードのかみこみに注意してください。



7.1 試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①水漏れの確認

止水栓を開き、給水脚・給湯脚やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

②水を出す・止める

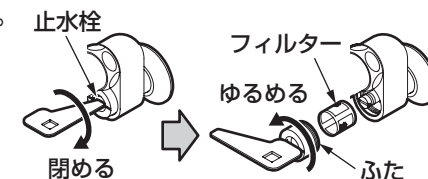
- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
 - 手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
 - 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。（センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります）
 - センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物を感知させると、最大1分間水を出すことができます。
- ※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。

※正常に動作しない場合は、**各コネクタが確実に接続されている**か確認してください。

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

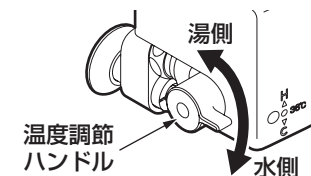
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。



※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。**

3. 吐水温度の調節

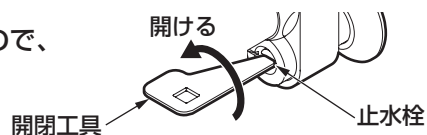
工場で適温（約36℃）に温度調節をしています。取付現場の圧力状況などによって、所定の温度にならない場合があります。この場合は、温度調節ハンドルを手で回して温度を調節してください。



4. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、基本的には流量の調節は不要です。

止水栓は全開 でご利用ください。



ただし、圧力が低い場合や電気温水器とのセットにより、流量が不足する場合がありますので、下記要領にて定流量弁を取り外し流量を調節してください。

1. 開閉工具で湯側・水側の止水栓を閉める。

重要

2. ねじ(2カ所)を外し、機能部カバーを手前に引く。

3. 止め輪を外す。

4. ホルダーを外し、定流量弁を取り出す。

5. ホース継手を元の位置に戻し、止め輪を取り付け、機能部カバーを取り付けてください。

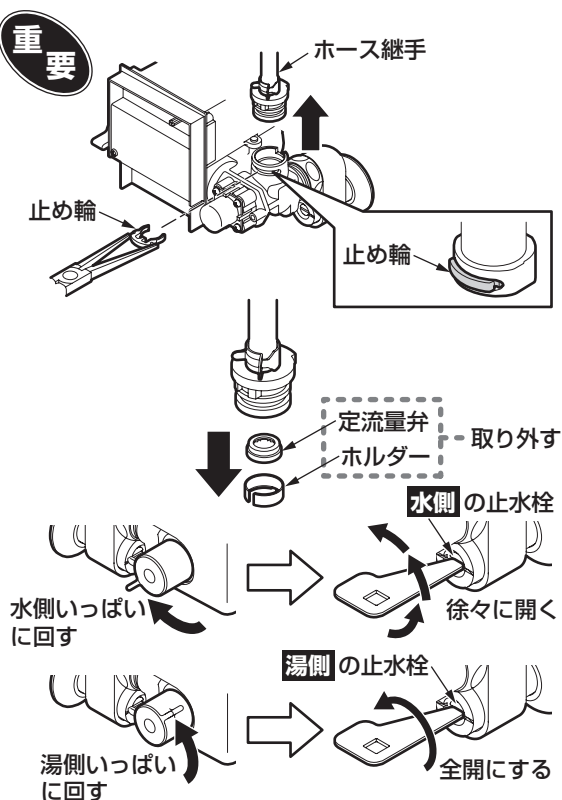
止め輪の付け忘れに注意 してください。

6. 温度調節ハンドルを水側いっぱいに戻す。

7. 水側の止水栓を徐々に開け、500mlのペットボトルが10秒以内で満水になるように流量を調節する。

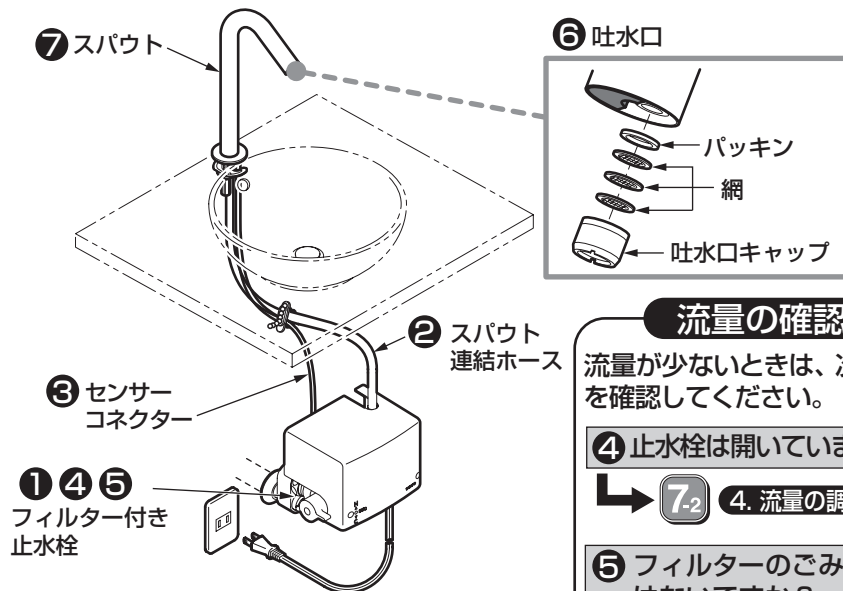
8. 温度調節ハンドルを湯側いっぱいに戻す。

9. 湯側の止水栓を全開し、吐水温度が42℃以下であることを確認する。



点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

④ 止水栓は開いていますか？

➡ 7-2 4. 流量の調節 参照

⑤ フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 7-1 2. フィルターの掃除 参照

⑥ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑦ スパウトのガタツキはないですか？

➡ 6-4 - 10 「スパウトの固定」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 止水栓部の水漏れはないですか？

➡ 6-2 - 4 「給水・給湯脚の取り付け」参照

② スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか？

➡ 6-3 - 6 「スパウト連結ホースの接続」参照

コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

③ コネクターはしっかり差し込まれていますか？

➡ 6-3 - 7 「コネクターの接続」参照